

福祉サービス事業 フリーダム創生
生活介護事業（シオンの家）2020年事業計画書

従業員数

管理者（兼務）1名 サービス管理責任者 1名

生活支援員 16名（内非常勤 3名）看護職員 2名（非常勤）医師 1名（東永）

利用者数（定員 25名）

実利用者 身体障害者 18名（内車いす 18名）知的障害者 9名 合計 27名

【運営目標】

利用者が自立して日常生活、及び社会生活を過ごすために、排泄及び食事の介助、生産活動及び創作活動の提供を行う。また、地域との関係を重視し、市町村、他の障害者事業所、相談支援事業所、医療機関、学校などの機関との連携を図ります
障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準に定める内容のほか、その他関係法令等を遵守し、事業を実施するものとする（運営規定より）

1. 利用者一人一人に対し、本人・家族・他施設と連携を組み、充実した日中生活を過ごす
2. 事業所内作業、街頭販売、行事を通して心身の成長を目指す
3. 5つの虐待（身体的、ネグレクト、心理的、性的、経済的）の知識を深め、利用者に対する言動を意識する
4. 利用者の尊厳を守り、一人の大人として接する。
5. 感染症への知識を深め、予防を徹底する

【サービス（支援）内容】

サービス担当者会議を行い、一人一人の利用者に対しての個別支援計画を立て、その内容に基づき職員、家族、他利用機関と連携を取りながら支援していきます。

主な内容として、身体介護（排泄、食事、移乗）、生産活動（製菓商品及び仕入れ商品の販売）、創作活動（内職、駄菓子ラッピング、紙ちぎり、絵画）、生活相談（カウンセリングルームの設置）、健康管理（生活支援員によるリハビリ、週一回の訪問歯科、バイタル、月一回の医師の診察、看護師の様子観察）、その他必要となる介護、支援、助言を行います。

【支援の効果と課題】

1. 利用者一人一人に対し、本人・家族・他施設と連携を組み、充実した日中生活を過ごす
効果：体調面や精神面などを他施設と共有することにより、一日を通して利用者のケアが出来る
課題：個人情報に伴うことも多いので、漏洩の無いよう徹底した管理が必要になる。
2. 事業所内作業、街頭販売、行事を通して心身の成長を目指す
効果：街頭販売や行事などで利用者がしたことのない事、出来なかった事も職員と一緒に出来る工夫を考え、可能性を伸ばす。
課題：利用者が前向きに取り組めるよう、一人一人の利用者の特性を理解した上での声掛けが必要になってくる。
3. 5つの虐待（身体的、ネグレクト、心理的、性的、経済的）の知識を深め、利用者に対する言動を意識する
効果：利用者が気づかひすることなく作業に集中できる
課題：職員が5つの虐待の知識をしっかり持ち、無意識のうちに虐待を行っていないかを常に意識する必要がある。
4. 利用者の尊厳を守り、一人の大人として接する。
効果：社会人として自立への意志が向上する
課題：職員が決定権を持たないよう、利用者の意志を尊重する。
5. 感染症への知識を深め、予防を徹底する
効果：感染の知識深めることで未然に防ぐ事ができる
課題：時期により感染予防の意識が低下する恐れがある。随時、話し合い感染予防の意識を高める

【課題点】

車いすを利用している重度障害者の作業スペースや介護スペースに余裕がなく、手狭な状態で事業を行っております。

また、入浴サービスのニーズが増えていることもあり、入浴設備がない当事業所では、設備のある事業所へ移る利用者も増えてきました。

利用者確保の観点から、重度障害者への就労支援をしておりますが、前日利用（週5日間）から、一部利用の対応など、利用者やその家族のニーズに出来るだけ応える必要があるように思います。